



第59期

中間報告書

自 平成22年6月1日



至 平成22年11月30日

株式会社 **オータケ**

証券コード 7434

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。
当社第59期（平成22年6月1日から平成22年11月30日まで）の中間決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成23年2月



代表取締役 社長

吉川 富雄



本社（名古屋市中村区）

営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、政府のエコポイントによる消費刺激策等により、一部の業種には下げ止まりの兆候が見られるようになりました。しかしながら、全体的には厳しい雇用情勢が続き、個人給与所得の減少等により消費マインドは低く、政府による各種補助政策の終了、縮小等により、先行き不透明な状況が続いております。

当管材業界におきましては、新規住宅着工件数や民間設備投資に緩やかな回復傾向が見られるものの、公共投資の削減による市場規模の縮小などにより、厳しい経営環境が続いております。このような環境のもとで、当社は新規取引先の開拓や既存取引先でのシェアアップ等営業基盤の拡充に努めてまいりました。

この結果、当中間期における売上高は105億21百万円（前年同期比7.4%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費の抑制により営業利益は1億87百万円（前年同期比98.7%増）、経常利益は2億35百万円（前年同期比81.6%増）、中間純利益は1億21百万円（前年同期比70.2%増）となりました。

通期の見通し

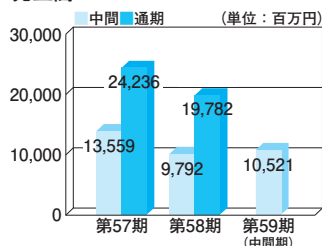
わが国経済の見通しにつきましては、政府のエコカー補助金やエコポイントによる仮需等により、個人消費など一部の指標に持ち直しの傾向が見られました。しかし、今後は厳しい雇用環境に加え、政府による各種補助政策が終了、縮小し、また円高による輸出産業の低迷が予想されるなど、厳しい経営環境となっております。

このような厳しい環境下、当社は引き続き顧客志向の徹底を図り、新規取引先の開拓と既存取引先でのシェアアップによる営業基盤の強化・拡大を図るとともに、リスク管理の徹底によるロスの排除と採算重視の受注活動により、利益確保に努力してまいります。

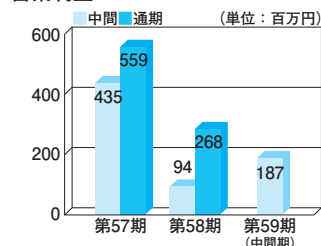
通期業績見通しといたしましては、このような環境下、売上高は210億円（前期比6.2%増）となる見込みであります。また、利益面では、売上高の増加と販売費及び一般管理費の抑制により営業利益3億円（前期比11.6%増）、経常利益3億60百万円（前期比10.2%増）、当期純利益2億円（前期比21.2%増）となる見込みであります。

業績推移

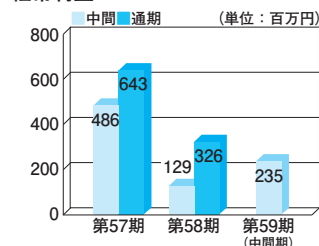
売上高



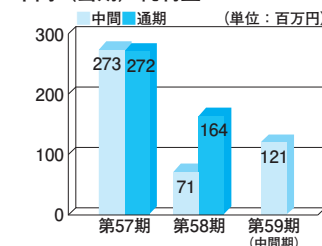
営業利益



経常利益



中間（当期）純利益



経営方針

当社は、「信用第一」を信条として、建設設備関連に不可欠な基礎機材である「管工機材」を通じて、マイホームから工業用プラントまであらゆる分野で付加価値の高い商品と高品質なサービスを提供し、また公正な企業活動を通じて社会に貢献することを経営方針とし、次の4項目を掲げております。

1. 株主満足度の向上
2. 顧客満足度の向上
3. 社員満足度の向上
4. 地域社会満足度の向上

この経営方針のもと、専門商社としてユーザーとメーカーの橋渡しをするだけでなく、多様化するニーズにお応えするための情報収集に注力し、サービス・流通の充実を目指します。また、人材育成を通じて企業活力の向上を図り、公正かつ透明性の高い経営を行い、全てのステークホルダーの期待にお応えし、企業価値を高めてまいります。

経営戦略

当社は、付加価値の高い商品と高品質なサービスの提供を基本に、顧客基盤の拡大を図るとともに、業務の効率化・リスク管理の徹底等によるローコスト経営を行い、業容の拡大と収益力強化により企業価値の向上に努め、全てのステークホルダーの期待にお応えするとともに、業界のリーディングカンパニーを標榜いたします。

1. 地域密着型営業活動
全国11拠点をベースに、きめ細かな地域密着型の営業を展開し、各地域のニーズに即した商品のラインナップ・ジャストインタイムの商品供給を追求いたします。
2. 配送システム
名古屋物流センターを核に全国を網羅した拠点・物流システムにより、スピードとクオリティーを兼ね備えた高品質なサービスを追求いたします。

3. 顧客ニーズに即した商品のラインナップ
独立系商社としてあらゆるメーカーの商品を「必要な時に必要なだけ」供給するシステムを整えるとともに、直需部門における一括受注体制や再販部門における「One-Stop Shopping」体制の強化を図り、併せてお客様のニーズを先取りした商品企画・提案営業を追求いたします。

4. 採算とリスク管理の徹底
全社与信管理システムによるリスク管理の徹底を図ることにより、ロスの発生を最小限に抑え、より採算重視を鮮明にした積極的な営業活動により「強い企業」を目指します。併せて徹底したローコスト経営を追求いたします。

5. システム投資の強化
主要取引先とのEDIシステム稼働の推進等、受発注業務のシステム強化を図り、業務のシンプル化により、効率性の向上を追求いたします。

6. 地域社会への貢献
廃棄物の削減、リサイクル等地域社会とともに環境型社会を目指し、環境保全活動の大切さを全社員に周知徹底してまいります。

商品別売上高の状況

第57期中間期 (単位：百万円)

4,660 (34.4%)	3,252 (24.0%)	1,676 (12.3%)	1,123 (8.3%)	1,005 (7.4%)	1,841 (13.6%)
------------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------

売上高 13,559

第58期中間期

3,499 (35.7%)	1,954 (20.0%)	1,265 (12.9%)	917 (9.4%)	775 (7.9%)	1,379 (14.1%)
------------------	------------------	------------------	---------------	---------------	------------------

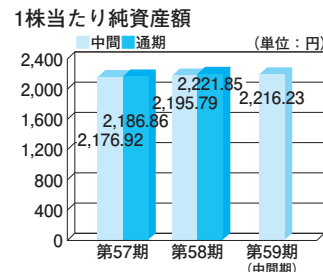
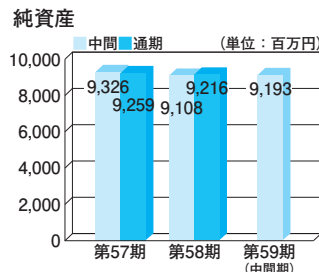
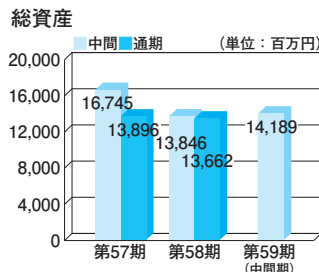
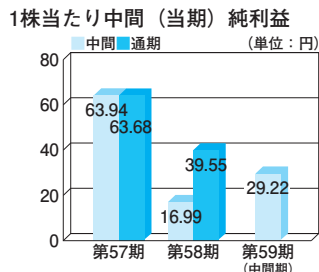
売上高 9,792

第59期中間期

3,826 (36.4%)	2,067 (19.7%)	1,384 (13.2%)	985 (9.3%)	709 (6.7%)	1,547 (14.7%)
------------------	------------------	------------------	---------------	---------------	------------------

売上高 10,521

バルブコック類	継手類	冷暖房機器類	衛生給排水類	パイプ類	その他
---------	-----	--------	--------	------	-----



財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円未満切捨)

	前中間期 (平成21年11月30日現在)	当中間期 (平成22年11月30日現在)	前期 (平成22年5月31日現在)		前中間期 (平成21年11月30日現在)	当中間期 (平成22年11月30日現在)	前期 (平成22年5月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	9,570,862	9,998,241	9,423,706	流動負債	3,950,581	4,179,566	3,654,401
現金及び預金	1,566,624	1,468,205	1,534,662	支払手形	2,232,998	2,197,174	2,168,741
受取手形	3,263,258	3,397,580	3,221,197	買掛金	1,494,039	1,636,385	1,246,950
売掛金	3,284,396	3,828,239	3,139,661	未払金	64,443	65,975	55,924
有価証券	200,701	—	200,171	未払法人税等	27,381	114,181	15,962
たな卸資産	1,176,827	1,215,540	1,194,353	未払消費税等	7,624	15,684	11,024
繰延税金資産	48,603	63,080	60,907	賞与引当金	86,562	97,594	109,950
その他	34,554	28,757	75,734	その他	37,532	52,571	45,847
貸倒引当金	△ 4,103	△ 3,162	△ 2,982	固定負債	787,327	817,053	792,179
固定資産	4,275,347	4,191,451	4,239,282	再評価に係る繰延税金負債	193,930	188,305	188,305
有形固定資産	2,933,505	2,864,658	2,892,083	退職給付引当金	454,449	483,581	466,926
建物	675,234	633,153	653,137	その他	138,948	145,166	136,948
土地	2,195,495	2,181,571	2,181,571	負債合計	4,737,908	4,996,620	4,446,580
その他	62,775	49,932	57,373	(純資産の部)			
無形固定資産	13,366	13,282	13,324	株主資本	9,322,332	9,450,188	9,424,382
投資その他の資産	1,328,475	1,313,510	1,333,874	資本金	1,312,207	1,312,207	1,312,207
投資有価証券	944,115	893,597	975,169	資本剰余金	1,315,697	1,315,697	1,315,697
関係会社株式	23,000	23,000	23,000	資本準備金	1,315,697	1,315,697	1,315,697
繰延税金資産	172,606	203,814	160,999	利益剰余金	6,932,410	7,060,265	7,034,459
その他	209,021	227,038	202,046	利益準備金	313,051	313,051	313,051
貸倒引当金	△ 20,268	△ 33,939	△ 27,341	その他利益剰余金	6,619,358	6,747,213	6,721,408
資産合計	13,846,209	14,189,693	13,662,988	別途積立金	4,900,000	4,900,000	4,900,000
				繰越利益剰余金	1,719,358	1,847,213	1,821,408
				自己株式	△ 237,981	△ 237,981	△ 237,981
				評価・換算差額等	△ 214,031	△ 257,115	△ 207,973
				その他有価証券評価差額金	149,038	114,252	163,394
				土地再評価差額金	△ 363,069	△ 371,368	△ 371,368
				純資産合計	9,108,301	9,193,072	9,216,408
				負債・純資産合計	13,846,209	14,189,693	13,662,988

中間損益計算書

(単位：千円未満切捨)

	前中間期 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)	当中間期 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	前期 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	9,792,202	10,521,253	19,782,855
売上原価	8,580,279	9,196,316	17,244,424
売上総利益	1,211,923	1,324,936	2,538,431
販売費及び一般管理費	1,117,767	1,137,843	2,269,570
営業利益	94,156	187,093	268,860
営業外収益	53,399	68,531	107,085
営業外費用	17,968	20,328	49,396
経常利益	129,587	235,296	326,549
特別利益	—	—	1,083
特別損失	157	19,694	16,238
税引前中間(当期)純利益	129,429	215,602	311,394
法人税、住民税及び事業税	23,500	108,500	129,500
法人税等調整額	34,703	△ 14,109	16,917
中間(当期)純利益	71,226	121,211	164,977

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨)

	前中間期 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)	当中間期 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	前期 (自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	873,952	△ 166,691	851,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 206,881	195,639	△ 215,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 257,509	△ 95,405	△ 257,509
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	409,561	△ 66,457	377,599
現金及び現金同等物の期首残高	1,157,063	1,534,662	1,157,063
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,566,624	1,468,205	1,534,662

会社の状況

会社概要 (平成22年11月30日現在)

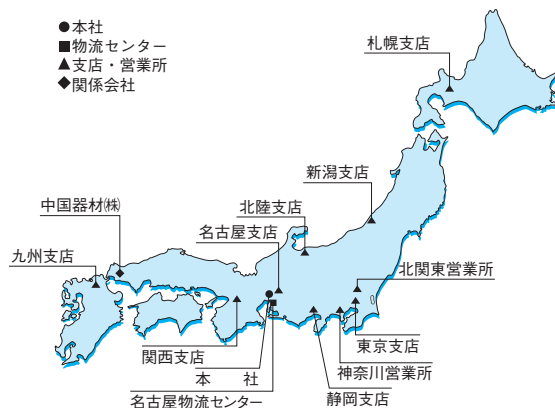
商号 株式会社 オータケ
OTAKE CORPORATION
本社所在地 〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目9番11号
☎ 052 (562) 3311
設立 昭和27年5月15日
資本金 1,312,207,200円
事業内容 管工機材の販売
社員数 222名

役員一覧 (平成22年11月30日現在)

取締役会長	鈴木	照	
代表取締役社長	吉川	富雄	
取締役	村井	善幸	営業本部長
取締役	三輪	正樹	西日本担当
取締役	堀部	浩市	管理本部長
取締役	高原	修一	関東統括部長
常勤監査役	藤田	久光	
監査役	石原	真二	
監査役	秋山	三郎	
監査役	大嶽	喜久雄	

主要事業所 (平成22年11月30日現在)

支店	札幌支店	札幌市東区	☎ 011 (784) 7711
	新潟支店	新潟市東区	☎ 025 (271) 7711
	東京支店	東京都江東区	☎ 03 (3635) 8484
	静岡支店	静岡県富士市	☎ 0545 (63) 4111
	北陸支店	富山県射水市	☎ 0766 (55) 3311
	名古屋支店	名古屋市中村区	☎ 052 (562) 3231
	関西支店	堺市美原区	☎ 072 (363) 2811
	九州支店	福岡市博多区	☎ 092 (411) 9128
営業所	北関東営業所	さいたま市見沼区	☎ 048 (687) 8111
	神奈川営業所	神奈川県平塚市	☎ 046 (228) 5711
物流拠点	名古屋物流センター	名古屋市中川区	☎ 052 (354) 7531
子会社	中国器材(株)	山口県周南市	☎ 0834 (31) 3456



株式の状況

株式の状況 (平成22年11月30日現在)

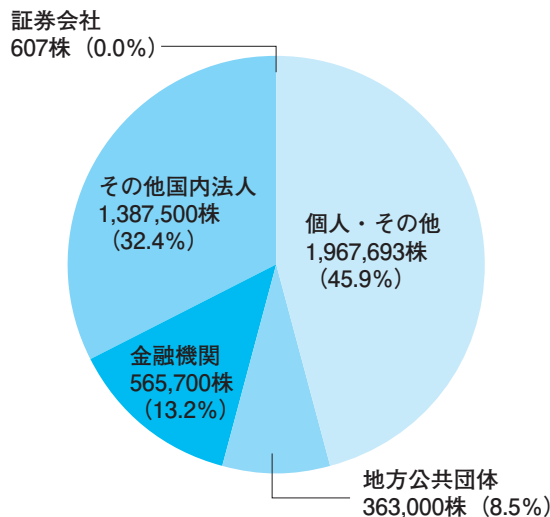
発行可能株式総数	13,000,000株
発行済株式の総数	4,284,500株
	(自己株式136,429株を含む)
株主数	366名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	株	%
オクタケ持株会社	411,700	9.92
愛知県幡豆町	363,000	8.75
オクタケ従業員持株会社	302,489	7.29
株式会社キッソ	292,100	7.04
鈴木照	283,900	6.84
尾崎美津子	148,300	3.57
岡谷銅機株式会社	142,400	3.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	140,000	3.37
株式会社りそな銀行	132,000	3.18
株式会社名古屋銀行	107,600	2.59

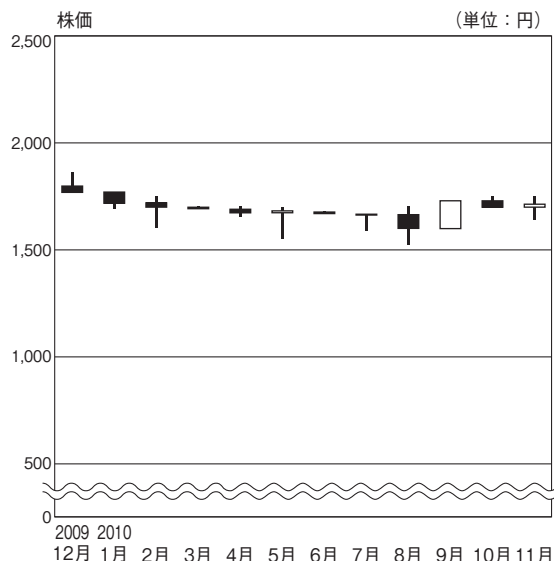
(注) 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除した数に基づき算出しております。

株式分布状況 (平成22年11月30日現在)



(注) 個人・その他には自己株式136,429株を含んでおります。

株価推移



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年5月31日
中間配当	毎年11月30日
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.kk-otake.co.jp
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。